

(第2号様式)

沖盲第1608号  
令和8年3月13日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄盲学校  
校長 新垣 ゆかり  
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月1日	沖縄盲学校小会議室	4名/4名出席
第2回	令和7年12月18日	沖縄盲学校小会議室	3名/4名出席
第3回	令和8年3月11日	沖縄盲学校小会議室	4名/4名出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校評価(自己評価、保護者アンケート、児童生徒アンケート)の結果に関する意見
- ②学校における教育活動並びに進路状況に関する意見
- ③教育環境等に関する意見
- ④幼児児童生徒数減少への取り組み
- ⑤全国フロアバレーボールの準備に関すること

3 学校評議員の意見

- ①児童生徒数の減少に伴う、点字指導など専門性の維持が課題である。あわせて、専攻科では夏休み補習の経過を整理し、国家試験合格に向けた取組を進めてほしい。
- ②寄宿舎での生活は、寝食を共にすることで自立する力は育まれる素晴らしい活動であるので、入寮者が増えるようにPRに取り組むと良い。
- ③働き方改革をしっかりと押し進めてほしい。
- ④学校評価が学校運営にしっかりと活かされている。

4 学校運営に反映した事項

- ①児童生徒数の減少に対する対応として、支援部は琉球イオンと連携し中北部でキャンペーンを行い、ヘルスキーパーを啓発する。福祉の充実で就労から離れる傾向もあるが、同行援護など様々なつながりを広げていく。
- ②専攻科職員の専門性の維持向上にむけた校内研修(県外専門家活用)を実施した。
- ③専攻科夏期講習等の取り組み。

5 課題その他

- ①第2回学校評議員会において学校給食を試食していただき、学校給食についてもご指導ご助言をいただくことができた。
- ②専攻科卒業生の就職先として、官公庁のヘルスキーパーなどの開拓について検討の余地がある。
- ③次年度沖縄県で開催される全国フロアバレーボールに関する準備にも、学校評議員の皆様にも多大なるご協力をいただいた。